

国公立大学 | 説明問題演習①

NAME[] DATE[] SCORE[]

解答時間:20 分

(1) 50 字以内

[illegible]

(2) 50 字以内

[illegible]

(3) 40 字以内

[illegible]

(4) 50 字以内

(5) 解答[]

記述問題で大切なのは、最初から満点を狙うことではありません。まずは 8 割の答案を確実に作ることを目標にしてください。記述問題の答えは、自分で考え出すものではなく、本文中の根拠から作るものです。まず設問が何を求めているかを確認し、根拠箇所を特定します。根拠は下線部と同じ段落にあることが多く、基本は前後 1～2 文を確認します。ただし、下線部が段落の先頭なら後ろ、段落末なら前に注目します。根拠を見つけたら、必要な要素だけを抜き出し、それを設問に合う日本語へまとめます。考えながら解答欄に書いてはいけません。「設問 → 根拠 → 要素 → 答案」の順番を徹底し、最後に字数を調整する。難しい問題ほど、この基本手順を崩さないことが安定した得点につながります。

説明問題 | 記述答案の作り方

基本原則

① 設問を確認する

「どういうことか」「なぜか」「何を指すか」など、何を答える問題かを確認する。

② 根拠箇所を探す

根拠は同一段落にあることが多い。まず下線部の前後 1～2 文を確認する。

※段落の先頭なら後ろ、段落の最後なら前に根拠があることが多い。

③ 必要な要素を抜き出す

根拠から、答案に必要な内容だけを短くメモする。

④ 一文にまとめる

「～ということ」「～ため」など、設問に合った形で答案を作る。

⑤ 字数を調整する

必要な要素を残し、重複や余分な表現を削る。

最重要

考えながら解答欄に書かない。

設問 → 根拠 → 要素 → 答案

まず確実な 8 割の答案を作り、余裕があれば精度を上げる。